

横浜市

クラシックローズガーデン

こども植物園
バラ園

クラシックローズガーデン

◆ 概要

2020(令和2)年3月、横浜市こども植物園バラ園は、40周年記念事業の一環で、バラの歴史を代表する品種を見て学べる「クラシックローズガーデン」としてリニューアルされました。

全体を4つのブロックに分け、入口から順に、「モダンローズ(2000～)」、「モダンローズ(1980～)」、「モダンローズ(1867～)」、「野生種・オールドローズ」のブロックとし、バラの変遷が分かる配置となっています。

また、野草園側脇には世界バラ会連合の世界バラ会議で選ばれた殿堂入りのバラを、「モダンローズ」、「オールドローズ」の2区画に分けて配置しています。

◆ 横浜とバラの関わり

バラは、横浜開港とともに持ち込まれ、明治時代には居留地や外国人住宅の庭がバラで彩られました。やがて市内に苗が広まり、大正時代にはいま以上にバラの栽培は盛んに行われていたのです。

関東大震災で甚大な被害を受けた横浜に、シアトル市から震災の支援のために多くのバラが贈られ、「日米親善のバラ」として、野毛山公園や山下公園、横浜市児童遊園地にも植えられました。また、終戦後は「日本貿易博覧会」において、日本では初めての「ピース」がサンフランシスコ市から贈られました。

横浜市は、1989(平成元)年に市政100周年・開港130周年を記念して、バラを市の花として制定。さらに2009(平成21)年には、横浜開港150周年を記念して、「はまみらい」が誕生するなど、横浜とバラには深い関係があります。

最近では、平安時代に中国から渡ったバラと同系統とみられる品種が2017(平成29)年に市内で発見され、開国前から国内に存在するそのバラは品種が特定できないため「ミステリーローズ」と呼ばれ話題となっています。



横浜みどりアップ計画

A Zone モダンローズ(2000年～)

2000年以降のモダンローズは、耐病性があり、かつ美しく香りのよいバラが生まれている。

◆ノヴァーリス(F)

花名は小説「青い鳥」の作者で、18世紀ドイツの詩人の名前にちなむ。病気に非常に強く、良く咲く。

◆プリンセス・アイコ(F)

敬宮愛子内親王殿下のご誕生を祝して作出されたバラ。優雅さと愛らしい雰囲気、長い間良く咲き続ける。

◆はまみらい(HT)

横浜開港150周年を記念するシンボルの1つとして、横浜の未来のさらなる発展を願って命名(2009)。

◆ローズ・ヨコハマ(HT)

横浜ばら会の創立50周年記念事業で公募・命名されたバラ。ティー系の強い香りもある。

B Zone モダンローズ(1980年～)

この時期はイングリッシュローズが台頭。イギリスの育種家デビット・オースチンにより作出された。モダンローズの系統のシュラブ系統(S)に分類。

◆グラハム・トーマス(S)

「イングリッシュローズ(ER)」の代表品種で、日本のガーデニングブームの火付け役。世界バラ会連合の世界バラ会議(2009.バンクーバー大会)で殿堂入り。

◆エグランタイン/マサコ(S)

花名は「セーブ・ザ・チルドレン基金」というチャリティー団体を設立した女性の名にちなむ。また、雅子皇后のご成婚にちなんだ日本名。(ER)

◆ローズ・うらら(F)

ショッキングピンクの花色がたいへん華やかなバラで春から秋まで絶え間なく咲き続ける強健なバラ。

◆ピエール・ドゥ・ロンサール(CL)

花名は「バラの詩人」と呼ばれた16世紀フランス詩人の名前にちなむ。2006年の世界バラ会議(大阪大会)において殿堂入りした人気品種。

C Zone モダンローズ(1867年～)

完全四季咲き性を確立したハイブリッドティー系統(HT)の第1号「ラ・フランス」が誕生して以降、交配が盛んとなった1980年までのモダンローズのエリア。中輪房咲きのフロリバンダ系統(F)もあり色のバリエーションが豊か。

◆ラ・フランス(HT)

大輪、四季咲き性のため当時話題に。ハイブリッド・ティー第1号として記録された。この品種以降、一般的にはモダンローズと呼ばれる。

◆聖火(HT)

1964年東京五輪をイメージして京成バラ園芸が作出。開花とともに全体が赤くなる。

◆シャルル・ドゥ・ゴール(HT)

花名は元フランス大統領の名前にちなむ。濃いラベンダー色で強香、花つきがよい。

◆プリンセス・ミチコ(F)

美智子上皇后が、まだ皇太子妃だったときにイギリスの育種家から捧げられたバラ。

D Zone 野生種・オールドローズ

バラの品種改良の元となった野生種とオールドローズのエリア。オールドローズは1867年の「ラ・フランス」より前の系統の総称。半つる性もしくはつる性でほとんどが一季咲き。

◆ロサ・キネンシス(Sp) **Sp:野生種**

西洋バラに四季咲き性をもたらした。中国原産。コウシンバラの基本種。

◆ロサ・モスカータ(Sp)

ヒマラヤ西部原産と推定され、スパイシーな香りを持つ(ムスク・ローズ)。

◆ロサ・ギガンテア(Sp)

剣弁とティー香のルーツと言われているつる性の原種ばら。

◆ロサ・ケンティフォーリア(C) **C:ケンティフォーリア系統**

花弁が多いことから「キャベッジローズ」とも言われる。カップ状の花が特徴的で強香なケンティフォーリアの基本種。

E Zone 殿堂入りモダンローズ

世界バラ会連合の世界バラ会議で選ばれ、殿堂入りしたモダンローズを配置。選出の基準は「世界中のどの環境でも育てやすい」「多くの国で長く愛されている」「人類普遍の美意識」とされている。

◆ピース (HT) (1976.オックスフォード大会)

第二次世界大戦が終結した年に、世界の平和を願って名づけられたバラ (殿堂入り第1号)。その後、多くの銘花の交配親でもある。

◆クイーン・エリザベス (Gr) (1979.ブリティッシュ大会) Gr:グランティフローラ系統

イギリスのエリザベス女王の戴冠にちなんで命名されたバラ。大輪で花つきに優れる強健種。

◆アイスバーグ (F) (1983.バーデンバーデン大会)

「冰山」の意味で、作出国のドイツでは「白雪姫」の意味のある「シュネー・ビッチェン」と呼ばれ、世界中で愛されている銘花。

◆ノック・アウト (S) (2018.コペンハーゲン大会)

病気に強いことから、「ノック・アウト」と名付けられた。花付きがよく育てやすいバラ。

F Zone 殿堂入りオールドローズ

世界バラ会連合の世界バラ会議で選ばれ、殿堂入りしたオールドローズを配置。オールドローズは1988年から選出され、審査基準は「歴史上、またはその系統が重要で、長年愛され親しまれたもの」と定められている。

◆スヴニール・ドゥ・ラ・マルメゾン (B) B:ブルボン系統

オールドローズの中であって、完全な四季咲き性をもち完璧な花容と言われる。

◆グルス・アン・テプリッツ (Ch) (2000.ヒューストン大会) Ch:チャイナ系統

宮沢賢治がこよなく愛したバラで、「日光」の和名で良く知られる。

◆マダム・アルディ (D) (2006.大阪大会) D:ダマスク系統

マルメゾン宮殿の庭師だったアルディが妻に捧げたバラ。

◆ロサ・ガリカ・オフィキナーリス (Sp) (2012.ヨハネスブルグ大会)

最も古いガリカローズの品種で、ヨーロッパでは古くから薬用・香料用に用いられた。

野生種・オールドローズ

現在の園芸品種の作出に貢献した原種バラは9種あります。

時期	原産	種名	特徴
紀元前～18世紀	ヨーロッパ～中近東	ロサ・ガリカ	香りが強い、赤バラの祖
		ロサ・ダマスクナ	ガリカから派生、ダマスク香
		ロサ・アルバ	濃厚な香り、白バラの祖
		ロサ・ケンティフォーリア	花弁が多い
	イラン・イラク	ロサ・フォエティダ	黄色いバラの元
18世紀後半～19世紀初め	中国	ロサ・キネンシス (コウシンバラ)	四季咲き・木立ち性
		ロサ・ギガンテア	ティーの香り・剣弁
	日本	ロサ・ムルティフローラ (ノイバラ)	房咲き・つる性
		ロサ・ルキアエ (テリハノイバラ)	つる性、耐病性が増した

◆オールドローズの特徴

花弁が多く重なるカップのような花形やロゼットのような花形など、様々な表情の花容と個性豊かな香りをもち、しなやかな枝が特徴です。

モダンローズの歴史は約150年ですが、オールドローズの歴史は2000年にも及び、品種改良の歴史の中で絶えずに残った風情ある美しい花々を、このクラシックローズガーデンでぜひお楽しみください。

アクセス

- JR「保土ヶ谷駅」東口のりばから神奈中バス「77」「戸38」「横17」「東21」「205」で「児童遊園地入口」下車徒歩5分
- 京浜急行「井土ヶ谷駅」から市営バス「79」、もしくはJR「保土ヶ谷駅」東口のりばから市営バス「53」で「児童遊園地前」下車徒歩1分

問合せ

横浜市こども植物園 (指定管理者:公益財団法人 横浜市緑の協会)
TEL 045-741-1015 FAX:045-742-7604
HP <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>

制作 横浜市環境創造局 環境活動支援センター
制作協力 横浜ばら会
写真提供 京成バラ園芸株式会社、姫野ばら園ハケ岳農場
デビッド・オースチン・ローズ株式会社
制作年月 2021(令和3)年3月



ガーデンネックレス横浜
YOKOHAMA

ROSE GARDEN MAP

凡例



殿堂入りのバラ



香りのよいバラ



HT ハイブリッドティー系統



F フロリバンダ系統



S シュラブ系統



CL つるバラ

E Zone 代表品種写真



ピース (HT)



クイーン・エリザベス (Gr)



アイスバーグ (F)



ノック・アウト (S)

F zone 代表品種写真



スヴェニール・ドゥ・ラ・マルメゾン (B)



グルス・アン・デブリッツ (Ch)



マダム・アルディ (D)



ロサ・ガリカ・オフィキナリス (Sp)

E Zone 殿堂入りモダンローズ

F Zone 殿堂入りオールドローズ

A Zone モダンローズ (2000~)

B Zone モダンローズ (1980~)

C Zone モダンローズ (1867~)

D Zone 野生種・オールドローズ

ガゼボ

ラ・フランス以降はモダンローズ

ラ・フランスより前はオールドローズ

A Zone 代表品種写真



ノヴァーリス (F)



プリンセス・アイコ (F)



はまみらい (HT)



ローズ・ヨコハマ (HT)

B Zone 代表品種写真



グラハム・トーマス (S)



エグランタイン/マサコ (S)



ローズ・うらら (F)



ピエール・ドゥ・ロンサール (CL)

C Zone 代表品種写真



ラ・フランス (HT)



聖火 (HT)



シャルル・ドゥ・ゴール (HT)



プリンセス・ミチコ (F)

D Zone 代表品種写真



ロサ・キネンシス (Sp)



ロサ・モスカータ (Sp)



ロサ・ギガンテア (Sp)



ロサ・ケンティフォーリア (C)